

7/7 早稲

栄養失調 8.2億人 21年国連推定

【ローマ＝共同】国連機関の世界食糧計画(WFP)などは6日、世界で昨年、最大8億2800万人が栄養失調状態だったと推定する報告書を発表した。新型コロナウイルスのパンデミック(世界的大流行)が始まる前の2019年に比べ、1億5000万人増加したと分析。ロシアによるウクライナ侵攻などの戦争で食料危機はさらに深まっていると警告した。

報告書は「気候変動、紛争、新型コロナウイルスによる3重の危機」

コロナ前から1.5億人増加

が食料安全保障を脅かしていると指摘。「努力を強化させなければ、衰弱する子供たちが増え続けるだけだ」と強調した。

昨年は、新型コロナウイルスのパンデミック危機から脱却して食料事情が改善されることが期待されたが、栄養失調人口は逆に4600万人増加。

さらにウクライナでの戦争がサプライチェーン(供給網)を破壊し、穀物や肥料、エネルギーの価格に影響し、今年前半に食料価格が高騰したと指摘した。